

第13回高校生ものづくりコンテスト全国大会 in 四国

全国工業高等学校校長協会主催の「高校生ものづくりコンテスト全国大会」が四国であり、高知県測量設計業協会も後援をさせていただいた。



測量コンテストは高知工業高等学校を会場にして行われ、当協会の矢田歳洋会員(第一コンサルタント)が審査員を務めた。

競技は、全国9ブロックから勝ち上がってきた9校と開催県選出1校の計10校により外業(トラバース観測)、内業(計算)の総合点により高校生全国一を決める大会である。

16日は、各校受付、事前説明会(競技説明等)、競技コースの抽選、コース下見、機械器具の点検、練習が行われた後、高知工業高校体育館により開会式が行われた。

事前説明会の競技説明では、選手や引率の先生方から熱心なルール確認があった。各ブロックを代表して全国大会へ出場してきているのだという意気込みが感じられた。

17日の大会当日は、天候に恵まれ絶好の競技日よりであった。

外業競技では、機敏な動作で測量機器を据え付け、観測していた。はつらつと競技に集中している生徒たちの姿に感動させられた。

内業競技では、それぞれが役割分担を決め計算・点検・記入と3人で協力し合い作業を行っているのが印象的であった。



外業競技風景



内業競技風景

さすがに全国トップレベルの選手たちの競技である。優劣つけがたい高レベルの大会であった。審査は競技規定に従い厳正にさせていただいた。

2日間の大会に参加させていただき、熱心に若年技術者・技能者を指導育成している先生方の熱意を感じた。また、それに比べ、がんばっている選手たち(高校生)を見ることができ、将来の建設産業は明るいと感じた。

文責 矢田歳洋(第一コンサルタント)